

感染性胃腸炎の流行警報が発令されました。

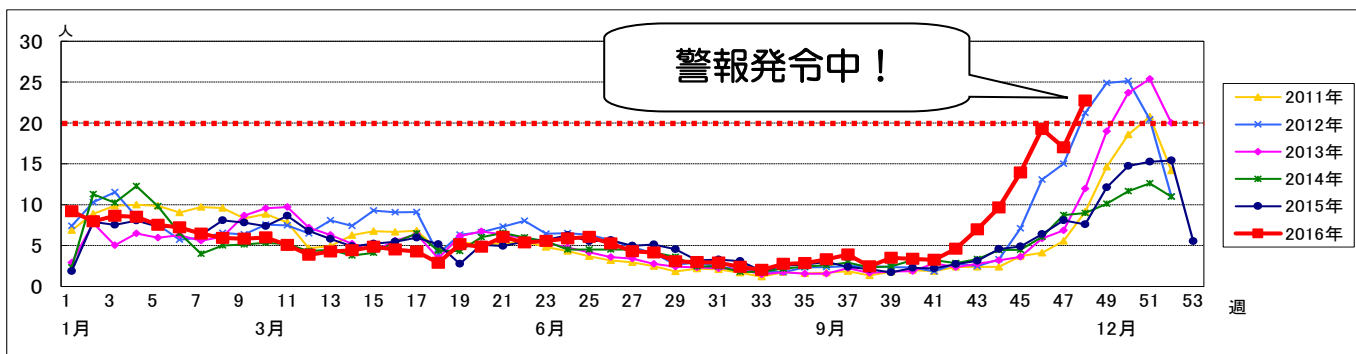
- ◇ 横浜市全体で感染性胃腸炎が定点^{※1}あたり **22.74** となり、流行警報発令基準値^{※2} を上回りました。**保育園、幼稚園、小学校を中心に集団感染が報告**されており注意が必要です。患者からは**ノロウイルス**が検出されています。
- ◇ 感染性胃腸炎は、**ノロウイルス**などの感染が原因で、下痢、腹痛、吐気、嘔吐などを主症状とする冬季に流行する疾患です。
- ◇ 予防には**手洗いや、便や吐物の適切な処理と次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒、食品の十分な加熱**が重要です。

※1 定点：定期的に患者発生状況を報告していただいている医療機関（市内約 90 か所）を定点医療機関といい、そこから報告された 1 週間分の患者数の平均値が定点あたり報告数です。

※2 警報発令基準値：定点あたり 20.00 以上。

感染性胃腸炎患者発生状況（感染症発生動向調査）

市全体における第 48 週（11 月 28 日～12 月 4 日）の定点あたりの報告数は 22.74 と流行警報レベルを上回りました。例年と比べて早くから増加傾向にあり、警報も例年より早い時期での発令です。



○横浜市内の感染症発生状況（横浜市感染症情報センター）

地図で表した直近 3 週間の区別流行状況（塗り分けの数字は定点あたり報告数）

